

「第4次豊田市生涯スポーツプラン」の進捗状況と今後の方向性

1 豊田市生涯スポーツプランについて

(1) 豊田市生涯スポーツプラン（計画期間：2001～2010年度の10年間）

- ・生涯スポーツ計画（1982年度～）の発展版の計画として2001年度に策定
- ・豊田スタジアムやスカイホール豊田の建設等、本市スポーツ環境の変化を踏まえたプラン
- ・当該プランをもとに、様々な関係団体と連携し、生涯スポーツ社会の実現を目指す。

(2) 第2次豊田市生涯スポーツプラン（計画期間：2011～2017年度の7年間）

- ・少子高齢化や情報社会の進展、2005年の市町村合併などの環境変化を踏まえたプラン
- ・「スポーツ」という用語が包含する内容について本市独自に定義し、従来の競技スポーツや学校体育だけではなく、日常生活における体づくりや健康増進の取組も推進

(3) 第3次豊田市生涯スポーツプラン（計画期間：2018～2021年度の4年間）

- ・ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックなどを見据えたプラン
- ・スポーツを「する」「楽しむ」「支える」の3つの柱で捉え、各種施策・事業を紐づけ

(4) 第4次豊田市生涯スポーツプラン（計画期間：2022～2025年度の4年間）

- ・現行プラン。コロナ禍や部活動の地域移行などの環境変化を踏まえたプラン
- ・「状態指標」と「取組指標」の階層構造で進捗管理や評価を実施
※詳細は別紙「第4次豊田市生涯スポーツプラン（本編）・（概要版）」を参照

2 状態指標の進捗状況と考察

(1) 進捗状況

柱	状態指標	めざす方向	基準値	2022年度
する	ア 1日60分以上運動する①小学生の割合、②中学生の割合	→	①38.7% ②69.5%	①35.9% ②59.5%
	イ 週1回以上スポーツを実施する成人の割合	↑	55.7%	59.1%
	ウ スポーツ・レクリエーション活動を行う障がい者の割合	↑	—	21.6%
楽しむ	エ 個別のトップスポーツチームやわがまちアスリートを認知している市民の割合（①わがまちアスリート、②名古屋グランパス、③トヨタヴェルブリッツ、④トヨタ自動車硬式野球部、⑤トヨタレッドテリアーズ）	↑	①62.3% ②100.0% ③75.4% ④76.9% ⑤34.2%	①32.6% ②90.0% ③52.2% ④60.2% ⑤29.7%
	オ ①豊田スタジアムで開催するスポーツ大会数、観客数 ②スカイホール豊田で開催するスポーツ大会数、観客数	↑	①14件、498,096人 ②6件、36,889人	①23件、417,322人 ②28件、89,045人
	カ ①経済波及効果 ②まちなかの賑わい創出	↑	①11,055円/人 ②242,522人/日	①8,851円/人 ※E-1選手権調査 ②193,204人/日
	キ スポーツを「支える」活動をした市民の割合	↑	5.2%	10.9%
支える	ク 市営スポーツ施設における重大事故件数	↓	1件	1件
	ケ 運動やスポーツをする上で情報不足を感じる市民の割合	↓	29.1%	46.4%

(2) 考察

ア 1日60分以上運動する①小学生の割合、②中学生の割合 出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査
・基準値（コロナ禍前の2019年度時点の数値）と比較し、2022年度の数値は低下
・3年間のコロナ禍による運動機会の減少が、数値の低下に繋がったものと考えられる。
・また、本市においては2022年度に小学校の部活動が廃止されたため、何らかの対策を講じない限り、今後数値はさらに低下していく可能性がある。

イ 週1回以上スポーツを実施する成人の割合 出典：市民のスポーツ活動等に関する基礎調査
・基準値（コロナ禍の2020年度時点の数値）と比較し、2022年度の数値は向上
・コロナ禍の自粛ムードの揺り返しとしてスポーツ志向が高まったものと考えられる。

ウ スポーツ・レクリエーション活動を行う障がい者の割合 出典：障がい者等実態調査
プラン策定時には基準値がなかったため比較不可。今後数値を追っていく。

エ 個別のトップスポーツチームやわがまちアスリートを認知している市民の割合 出典：市民のスポーツ活動等に関する基礎調査
基準値はプラン策定前年に行った公募型の市民モニター調査の結果であり、母数も200弱と少ないため、2022年度の数値が実態に近い内容であると考えられる。

オ 豊田スタジアム・スカイホール豊田で開催するスポーツ大会数、観客数 出典：スポーツ振興課調べ
・豊田スタジアム、スカイホール豊田ともに、スポーツ大会の開催件数は基準値を超えており、スカイホール豊田は観客数も大幅に増加している。
・しかしながら、豊田スタジアムの観客数は、入場者数や声出し応援の制限が一部の試合で残るなど、新型コロナウイルスの影響により基準値を下回ったと考えられる。

カ 経済波及効果とまちなかの賑わい創出 出典：令和4年度経済波及効果調査、豊田市中心市街地歩行者通行量調査
・経済波及効果調査は、毎年度名古屋グランパスの公式戦（休日）で実施しているが、2022年度はサッカー日本代表戦（E-1サッカー選手権大会）で実施し、平日調査ということで例年に比べ観客数も少なく、1人あたりの市内消費額は基準値を下回ったと考えられる。
・2022年5月のゴールデンウィーク開催試合での計測値で、豊田スタジアムの観客数と同様、新型コロナウイルスの影響により基準値を下回ったと考えられる。

キ スポーツを「支える」活動をした市民の割合 出典：市民のスポーツ活動等に関する基礎調査
・基準値（2020年度）と比較し、2022年度の数値は向上
・コロナ禍の行動制限が解除され、市内スポーツイベントが増えたこと、スポーツボランティアとよたの登録者数が大幅に増加し、支えるスポーツの担い手が増えたことなどが考えられる（スポーツボランティアとよた登録者数 2020：約550人、2022：約1,400人）。

ク 市営スポーツ施設における重大事故件数 出典：報道機関配布資料
・事案 1件：藤岡体育センター天井の吸音材（一部）が落下
・対応：移動式足場等を使用して点検を実施し、不具合が確認された箇所を全て撤去

ケ 運動やスポーツをする上で情報不足を感じる市民の割合 出典：市民のスポーツ活動等に関する基礎調査
・基準値（2020年度）と比較し、2022年度の数値は上昇
・2020年度と2022年度で、設問の設定方法を変更したことが、数値が上昇した要因の1つと考えられる。（別紙「市民のスポーツ活動等に関する基礎調査報告書」参照）
・一方で、設問の設定方法の変更による影響を考慮した場合、「行事・イベント」に関する情報について「不便を感じる」と回答した割合は2020年度と比較し上昇傾向。コロナ禍で行事・イベントが減少したことで、情報に触れる機会も減少したのと考えられる。

3 考察を踏まえた今後の方向性（案）

- 本市においては、「する」「楽しむ」「支える」の3つの視点で、各種施策や事業を引き続き展開
- 2023年度は新型コロナウイルスが5類に移行。2024年度はこれまで以上に市民の「する」「楽しむ」「支える」スポーツを一体的に推進していく必要有り
- とりわけ、コロナ禍前の「日常」経験が少なく、デジタル化の進展や猛暑日の増加等によりスポーツに触れる機会が少ないこども世代に対して重点的にアプローチしていく必要有り
- こども世代へのアプローチについては、現在策定中の「(仮)第9次豊田市総合計画」においても、分野を超えて取り組むべき最重要事項に位置付けられる予定
- 本市スポーツ資源を最大限活用し、こども世代のスポーツ環境を整備することで、将来の成人世代のスポーツ実施率向上や、親子でのスポーツ観戦機会の増加、部活動地域移行を見据えた指導者研修プログラムの策定等、「する」「楽しむ」「支える」スポーツを効果的に推進

<こども世代への具体的なアプローチ>

柱	対象	2023年度の事業	2024年度以降の事業	実施・連携主体
する	未就園児～	とよたスポーツフェスティバル	とよたスポーツフェスティバル	トヨタ自動車、中京大学、スポーツ協会、スポーツボランティアとよた、市
	未就園児～	地域スポーツクラブ補助金	地域スポーツクラブ補助金	地域スポーツクラブ、市
	未就園児～	スポーツ施設・学校開放施設の利用促進	スポーツ施設・学校開放施設の利用促進 ※運用見直しを検討	学校、市
	園児、小学生	コーディネーショントレーニング	コーディネーショントレーニング	スポーツ推進委員、地域スポーツクラブ、市
	園児、小学生	イーグルススポーツスクール	イーグルススポーツスクール	中京大学、市
	園児、小学生	子どもスポーツフェスタ	子どもスポーツフェスタ	中京大学、トヨタ自動車、地域スポーツクラブ、スポーツボランティアとよた、スポーツ協会、市
	園児、小学生	グランパスボールクリニック	グランパスボールクリニック	名古屋グランパス、市
	園児～	豊田マラソン大会	豊田マラソン大会	スポーツ協会、市
	園児、小学生	キッズスポーツフェスティバル	キッズスポーツフェスティバル	スポーツ少年団、スポーツ協会、市
	小学生	グランパス学校訪問	グランパス学校訪問	名古屋グランパス、市
	小学生	スタッツ教室	スタッツ教室 ※市も共催となりPR	中京大学、地域スポーツクラブ、市
	小学生	とよたスポーツ体験講座（走り方、投げ方、タグラグビー、パラアスリート）	とよたスポーツ体験講座（走り方、投げ方、タグラグビー、パラアスリート） ※種目を拡充予定	学校、中京大学、トヨタ自動車、地域スポーツクラブ、スポーツ協会、市
	小・中学生	部活動地域移行に向けた取組	部活動地域移行に向けた取組 ※人材バンク、指導者研修プログラム等	今後調整
	小・中学生	スポーツ少年団負担金	スポーツ少年団負担金	スポーツ少年団、スポーツ協会、市
楽しむ	園児～	親子無料招待	親子無料招待	トヨタ自動車、市
	小・中学生	夢の教室	夢の教室	学校、JFA、トヨタ自動車、中京大学、市
	親子	ヨガ×ラグビーJOYRUG	ヨガ×ラグビーJOYRUG	トヨタ自動車、市
支える	小・中学生	部活動地域移行に向けた取組<再掲>	部活動地域移行に向けた取組<再掲> ※人材バンク、指導者研修プログラム等	今後調整
	未就園児～	スポーツ施設・学校開放施設の利用促進<再掲>	スポーツ施設・学校開放施設の利用促進 ※運用見直しを検討	学校、市